

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 筑波研究学園都市記者会
- 平成 30 年 1 月 25 日同時配布



平成 30 年 1 月 25 日
国土技術政策総合研究所

耐候性鋼橋の長寿命化に関する共同研究者を募集 ～耐候性鋼橋の腐食進行を予測し、早期対策の必要性判断を支援～

国総研では、供用された耐候性鋼橋の予防保全の高度化のため、異常さびへの進展の可能性を供用後早期に予測する手法を検討する共同研究者を本日より平成 30 年 2 月 28 日（水）まで募集します。

国総研では、耐候性鋼橋を100年確実に維持し、長寿命化をより確実なものにするため、保護性さびの形成初期のできる限り早い段階で異常さびへの進展可能性を予測するための手法を共同で研究する共同研究者を募集します。

1. 共同研究名

耐候性鋼橋の長寿命化に関する共同研究

2. 研究項目及び公募条件

飛来塩分による耐候性鋼橋の異常さびへの進展可能性について、保護性さびの形成初期の状態を評価するための計測及び評価方法に関する一連の研究成果を有し、原則国総研が指定する全国の耐候性鋼橋 10 橋（未定）程度で現地調査を自ら実施できる機関は、下記の研究項目へ共同研究者として参加することができます。

- ①耐候性鋼橋の異常さびへの進展予測手法の検討
- ②予測結果活用の留意点のとりまとめ

※詳細は、別添資料を御参照ください。

3. 募集期間

平成 30 年 1 月 25 日（木）から平成 30 年 2 月 28 日（水）まで

4. 実施期間

協定締結後（平成 30 年 3 月予定）から平成 32 年 9 月 30 日まで

5. 提案様式、提出方法

詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

国総研ホームページ <http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kyoudou/index.html>

（共同研究の手続きに関する問い合わせ先）

企画部 企画課 主任研究官 長屋和宏、 研究官 中村大樹

TEL : 029-864-2674、FAX : 029-864-1527、E-mail : nil-kyoudoukenkyu@ml.mlit.go.jp

（共同研究の研究内容に関する問い合わせ先）

道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官 猪狩名人、 研究官 河野晴彦

TEL : 029-864-4919、FAX : 029-864-2690、E-mail : nil-bridged@mlit.go.jp

共同研究の公募内容

共同研究の名称

耐候性鋼橋の長寿命化に関する共同研究

担当研究室

道路構造物研究部 橋梁研究室

実施期間

協定締結後（平成 30 年 3 月予定）～平成 32 年 9 月 30 日

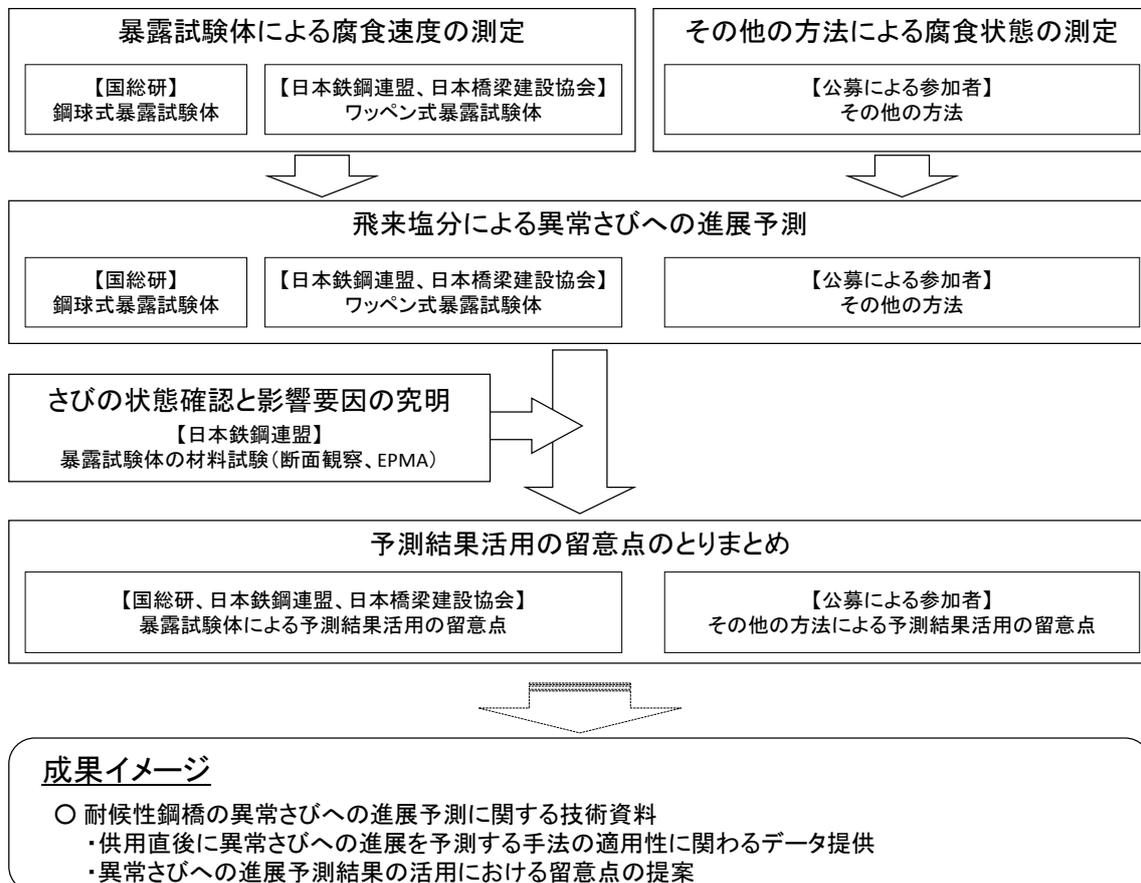
共同研究の背景及び目的

既設の耐候性鋼橋を 100 年確実に維持し、長寿命化をより確実なものにするためには、異常さびに進展する前の早期に対策することが合理的である。

そこで、本共同研究では既設の耐候性鋼橋の長寿命化をより確実なものにするため、架設後に緻密なさび層（保護性さび）の形成初期のできる限り早い段階で異常さびへの進展の可能性を予測し、対策実施の必要性判断を支援するための手法について検討を行う。

実施体制

本共同研究は、国総研、国立研究開発法人土木研究所（以下、「土木研究所」という）、一般社団法人日本鉄鋼連盟（以下、「日本鉄鋼連盟」という）、一般社団法人日本橋梁建設協会（以下、「日本橋梁建設協会」という）及び公募による参加者がそれぞれの専門性と知見に基づき研究を分担しつつ、相互に協力して実施する。



研究項目と研究分担

共同研究者は、各自の技術開発能力の高い分野の研究を主として分担する。

研究項目	研究細目	研究 分 担				年 次 計 画			
		国 総 研	共同研究者			29 年 度	30 年 度	31 年 度	32 年 度
			指定機関		公募				
			土 木 研 究 所	日 本 鉄 鋼 連 盟					
① 耐候性鋼橋の異常さびへの進展予測手法の検討	異常さびの発生予測	ワッペン式暴露試験体の腐食速度を測定し、飛来塩分による異常さびの発生を予測	○	○	◎	◎	—	←————→	
		鋼球式暴露試験体の腐食速度を測定し、飛来塩分による異常さびの発生を予測	◎	○	○	○	—	←————→	
		公募者が有するその他の方法により、腐食状態の変化から異常さびの発生を予測	—	—	—	—	◎	←————→	
	さび性状の確認と影響要因の究明	○	○	◎	○	○	←————→		
② 予測結果活用の留意点のとりまとめ	暴露試験体による予測結果活用の留意点のとりまとめ	◎	○	◎	◎	—	←————→		
	公募者が有するその他の手法による予測結果活用の留意点のとりまとめ	—	—	—	—	◎	←————→		

※研究分担の欄の記号は以下のとおりである。

- ◎：該当する項目及び細目を主として分担する
- ：該当する項目及び細目を従として分担する
- ：該当する項目及び細目を分担しない

※共同研究者は、各自の技術開発能力の高い分野の研究を分担しつつ、相互に連携して研究を進めるものとする。

各研究項目の概要

① 耐候性鋼橋の異常さびへの進展予測手法の検討

- 1) 暴露試験体（鋼球式、ワッペン式等）を原則国総研が指定する全国の耐候性鋼橋10橋程度（対象橋は未定）に設置し、さび厚の変化から飛来塩分による異常さびへの進展を予測する。
- 2) 暴露試験体の断面観察を行い、さび状態に与える影響要因を究明する。
- 3) 公募者の有するその他の原位置計測の方法により、異常さびへの進展予測を行う。

②予測結果活用の留意点のとりまとめ

- 1) ①の進展予測結果から、架橋地点の地形環境、各部材、部位毎の局部環境、遮蔽物（並列橋、地山近接など）等がさび形成に与える影響を効率的に把握するための留意点のとりまとめを行う。
- 2) 公募者の有するその他の原位置計測の方法について、1)と同様の検討を行う。

募集する共同研究者に対する条件、募集する共同研究者数等

【共同研究者（公募）に対する条件】

飛来塩分による耐候性鋼橋の異常さびへの進展可能性について、保護性さびの形成初期の状態を評価するための計測及び評価方法に関する研究成果を有し、原則国総研が指定する全国の耐候性鋼橋10橋（未定）程度において現地調査を自ら実施できる機関であること。

【共同研究者（公募）の参加者数等】

参加者数は上限を設けない。

【共同研究者（公募）の審査】

参加者の決定に当たっては共同研究申請書に基づき審査し、上記の「共同研究者（公募）に対する条件」に照らして道路構造物研究部で総合的に評価し、判断する。なお、必要に応じてヒアリングを実施する。

公募条件及び研究内容に合致しない場合は参加を認めない。

注意事項

本共同研究において、各者で実施する研究に係る費用については、各者で負担していただきます。（国総研から共同研究者に対し、費用を支払うことはできません。）また、共同研究者は、本共同研究のうち、国総研の研究分担に係わる請負業務への競争参加資格はなくなりますので、ご注意ください。

問い合わせ先

（共同研究の応募その他手続きに関するもの）

企画部 企画課 主任研究官 長屋和宏、 研究官 中村大樹

TEL：029-864-2674 / FAX：029-864-1527

E-mail：nil-kyoudoukenkyu@ml.mlit.go.jp

（共同研究の研究内容に関するもの）

道路構造物研究部 橋梁研究室 主任研究官 猪狩名人、 研究官 河野晴彦

TEL：029-864-4919 / FAX：029-864-2690

E-mail：nil-bridged@mlit.go.jp